

奈良県立医科大学附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、以下の臨床研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

下記の概要についてご確認いただき、画像・試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、画像・試料・情報を用いませので、以下の「問合せ先」までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

下記の研究は、奈良県立医科大学医の倫理審査委員会（以下、「倫理審査委員会」と略します）で審査され、研究機関の長の許可を得て行います。

① 研究課題名	心臓画像診断装置と心筋生検組織を用いた左室駆出率が保たれた心不全の機能的かつ組織学的評価		
② 研究期間	実施許可日から 2028 年 3 月 31 日		
③ 対象患者	対象期間中に当院で循環器画像撮像検査（心臓超音波検査、心臓 CT、心臓 MRI、心筋シンチ、冠動脈検査）を受けられた患者さん		
④ 対象期間	2013 年 1 月 1 日 から 2023 年 9 月 30 日		
⑤ 研究機関の名称	奈良県立医科大学		
⑥ 研究責任者	氏名	妹尾 絢子	所属 循環器内科
⑦ 使用する試料・情報等	循環器画像（心臓超音波検査、心臓CT、心臓MRI、心筋シンチ、冠動脈検査）		
⑧ 研究の概要	<p>【背景】高齢化が進み、心不全による死亡者数は増加しており、心不全パンデミックと称される時代に突入しています。心不全は、心臓が全身に血液を送り出すポンプ機能の低下などによって発症しますが、ポンプ機能、つまり心臓の収縮力が低下していない心不全患者数も全体の約半数に上るとされています。心収縮力が低下していない心不全患者さんにおいては、現在の心機能評価では、まだ予後予測（病気の進行具合や転帰）など不明な点が多いのが現状です。</p> <p>【目的】当院で撮像された循環器画像（心臓超音波検査、心臓CT、心臓MRI、心筋シンチ、冠動脈検査）を解析し、心収縮力が低下していない心不全の発症予測および予後予測が可能な因子や特徴について検討します。</p>		
⑨ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2023 年 9 月 26 日	
⑩ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。ご希望される場合は、「⑬ 問合わせ先・相談窓口」にご連絡ください。		
⑪ 結果の公表	学会や論文等で公表します。個人が特定されることはありません。		
⑫ 個人情報の	カルテ ID や氏名などの個人情報を研究用 ID に置きかえて使用するた		

取扱い	め、あなたの個人情報外部へ漏れることはありません。カルテ ID と研究 ID の対応表は厳重に研究責任者において管理されます。研究の成果は、学会や学術誌などで公表されますが、この場合も、個人が特定される情報が公開されることはありません。		
⑬ 問合わせ先・相談窓口	奈良県立医科大学 循環器内科 担当者：妹尾絢子		
	電話	0744-22-3051(内線 3411)	FAX 0744-22-4121
	Mail	ichinai@naramed-u.ac.jp	